

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2020年10月30日発行

第4号

広島女学院中学高等学校

聖書のことば

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、借り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。

だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。

マタイによる福音書 6章26節、34節

中学の校庭に、ハナミズキの木があり、その葉が見事に紅葉しています。皆さんは、どのように秋を感じていますか。自然の美しさに包まれる季節の中で、自分に与えられた命に感謝し、今日を大切に生きたいと思います。

茨木のり子さんの「知命」と題された詩を紹介します。

他のひとがやってきて
この小包の紐 どうしたら
ほどけるかしらと言う

まきこまれ
ふりまわされ
くたびれはてて

他のひとがやってきては
こんがらかった系の束
なんとかしてよ と言う

ある日 卒然と悟らされる
もしかしたら たぶんそう
沢山のやさしい手が添えられたのだ

鉄(はさみ)で切れいと進言するが
肯(がえん)じない
仕方なく手伝う もそもそと

一人で処理してきたと思っている
わたくしの幾つかの結節点にも
今日までそれと気づかせぬほどの
さりげなさで

生きてるよしみに
こういうのが生きてるってことの
おおよそか それにしてもあんまりな

詩集「自分の感受性くらい」
(1977年3月 花神社)

(校長)

創立記念礼拝

10月3日(土)、湊晶子院長先生の録画メッセージを視聴し、創立記念礼拝をもちました。「そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。」(ガラテヤの信徒への手紙3章28節)より、戦争体験、戦後のアメリカ留学、アジアの女性たちとの出会いなどをおして、様々な違いを持った人々が手をつなぐためには何を心に留め何を変えなくてはいけないかを考え、世界に影響を与えられる真の国際人へと成長してほしいと語られました。

湊先生は今年度で任期を満了し、女学院を去られますが、「最後の遺言のつもりで皆さんに託す」と言われました。その先生の熱い思いを受け継いでいきたいと思います。

(宗教教育委員会)



教育実習について

例年は6月に行う教育実習ですが、今年度はコロナウイルスの影響で、9月14日(または10月2日)から3週間実施しました。

実習生たちは、教師として生徒に接すること、教えることや学びの姿勢を引き出すことの難しさ、その準備の大変さに気付くことができたようです。また、生徒に温かく迎えられ、支えられたことにも感謝していました。

彼女たちの今後の活躍を期待しています。

(教育実習係)

学校行事(遠足)

《中1》遠足

中1は山口県和木町の蜂が峰公園に行きました。HR委員会を4度開き生徒と一緒に準備を進めました。4月以降いろいろな行事が中止となり学年単位で遊ぶこともほとんどできなかったもので、十二分に楽しめる一日にしたいと学年会では考えました。雨天時のことも考え、現地でも学校でもできるリクリエーションとしてクラス対抗全員リレーを準備しました。

楽しみにしていた当日は小雨が降ったりやんだりする寒い日でしたが、バスは蜂が峰に向けて出発。車内ではHR委員が企画したレクリエーション(音楽を聴く、映画を観るなど)を楽しみました。公園につく頃には雨が止んだので、ローラー滑り台で遊んだりミニSLに乗ったりすることができました。「ミニ」とはいえトンネルもあり、秋の野山の風情を味わうこともできました。昼過ぎに雨風が少し強さを増してきたので、バス内でお弁当を食べ、学校への帰路につきました。そして体育館で予定していた全員リレーを実施しました。バトン
は使わず肘タッチで、十数種類の変った走り方(スプーンの上にテニスボールを乗せて走る、クイズを解きながら走る、など)を混ぜて、とにかく出席者全員が半周ずつ走り、盛り上がり楽しく終わることができました。1位は3組でした。天気には恵まれなかったけれど、学年で一つの行事をすることの大切さを改めて感じた一日でした。

(中1学年会)



《中2》遠足

中2遠足は、備北丘陵公園へ行きました。バスの中ではクラスごとに DVD 鑑賞をしました。「美女と野獣」や「アラジン」、「天気の子」、「千と千尋の神隠し」、「アナと雪の女王2」といった各クラスで見たいものをコロナ感染拡大防止を意識して、バスの中で静かに楽しむことができました。



現地はあいにくの天気でしたが、きれいに咲くコスモスを楽しんだり、雨が落ち着いたらボールで遊んだり、よい気分転換の日になったようです。1学期からコロナの影響で様々なことが制限されていましたが、2学期になってやっと学校行事らしい活動ができました。これからもクラスのみんなと過ごす時間を大事にして学校生活を楽しんでほしいと思います。

(中2学年会)

《中3》遠足

10月8日(木)に秋の遠足があり、中3は平田観光農園へ秋の果物狩りに行きました。雨で少し寒かったのですが、農園で収穫したばかりのりんごやブドウはとても美味しく、みんな寒さを吹き飛ばして秋の味覚を味わいました。今年はコロナウイルス感染症の影響で研修旅行が延期となり、様々な行事も行えていません。今回の遠足が中3に



なってからの初めての学年行事でしたので、校外で活動する楽しそうな様子や元気そうな笑顔に、



ようやく中3生徒のパワーを感じることができました。何かと制限の多いこの1年ですが、これからもみんなで活動できることを一つ一つ楽しみながら、よい思い出をたくさん作っていきたいと思います。(中3学年会)

《高1》遠足

春に高校生になって以来、初めて皆で遠足に行くことが出来ました。私達高1の行先は、アクアス。そこでは沢山の生き物を間近で見ることが出来ました。教室では前を向いて静かに昼ご飯を食べますが、久しぶりに外で集まって楽しいお昼を過ごしました。アクアスに隣接する浜辺で日本海を背に写真を撮ったり遊んだり、女院生らしく思い思いに楽しみました。当たり前だと思っていた行事が学校生活において大切なものなのだと、改めて感じた一日でした。(1-C HR委員)



《高2》遠足

高2は尾道へ行ってきました。現地ではグループに分かれて、おしゃれなカフェでスイーツを楽しんだり、尾道ラーメンを食べたりと、あいにくの雨でしたが、持ち前の明るさでしっかり楽しみました。中には、向島に船で渡って昔懐かしいラムネを飲むグループもありました。集合時間には、両手一杯にお土産を持った生徒たちが駐車場まで走ってくるほど、時間いっぱい尾道を満喫しました。先生方やバスの運転手さん、優しく声をかけてくださった尾道の方々のおかげで遠足の楽しい思い出ができました。



(写真部高2)

《高3》遠足

高校3年生は、女学院生活最後の遠足で、毎年恒例の「みろくの里」に行きました。当日はあいにくの雨模様。小降りになることを願いながら現地に向かいましたが、雨は強くなる一方でした。しかし「雨にも負けず」を合言葉(?)に、雨具を身にまとい、それぞれが園内に散っていきました。

一番人気は、やはりスーパーバイキング。最大120度の幅で20mの高さまで振りあがるスリリングな乗り物です。冷たい雨でビショビショになってしまいましたが、心と体は温まり、しっかりリフレッシュできました。来月11月からは本格的に入試がはじまります。この雨の中でアトラクションに立ち向かったように、進路決定に向けた大きな壁＝大学入試にもしっかり向き合っていきたいと思っています。

(高3学年主任)



保健室だより（４）

朝晩の冷え込みが日増しに強まってきました。服装の調整が難しい季節です。保健室にも、寒さを訴える生徒が多く来室しています。「まだみんなが着てないから」とカーディガンやジャケットを拒む声が多く聞かれますが、寒さの感じ方には個人差があります。周りに合わせるのではなく、自分の体調を管理する目的で服装の調節をしましょう。

特に今年は、感染症対策の面で換気を継続しています。早めの寒さ対策が必要かもしれません。バランスの良い食事、適度な運動、シャワーよりも入浴、そして十分な睡眠で免疫力を高め、厳しい冬の寒さに耐えられる体にしていきましょう。（保健室）

心の健康（４）

11月は秋から冬へと移っていく良い季節です。木の葉は紅葉し自然の美しさを見せてくれます。この美しさは人の心にちょっとした感動を与えてくれます。

人間は自然が見せる姿に影響を受けるし、またその移ろいに人生を感じます。

11月は親子で木々の美しさに触れて心に感動を呼び起こす良い時期です。人間関係を重視した日々の生活の中で忘れられてしまいやすいのですが、自然に触れて心に湧いてくる感動は心身の健康を増進してくれるようです。散歩の途中、童心にかえって落ち葉を観察してみませんか。濃い緑色、薄い緑色、紅色、朱色、黄色、黄金色、茶色とカラフルです。色を楽しんで、心が開放されていくのを味わってみましょう。

（カウンセラー）

最終下校時刻変更のお知らせ

最終下校時刻は、11月4日（水）より、中学生は17：30、高校生は18：00となります。ご家庭で帰宅時間の確認をお願いします。

（中学・高校生徒会）

文化祭代替発表・展示会

既にお知らせしたように、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、本校文化祭の開催を中止することになりました。毎年生徒の発表を見ることを楽しみにしておられた方には申し訳なく思います。そこで文化祭代替発表・展示会として、部活動を中心に生徒の日頃の練習の成果を発表する場を設けました。しかし残念ながら、感染症がまだまだ収まっていない状況を踏まえ、誰にでも自由に公開というわけにはいきません。本校生徒・教職員と、発表する団体にお子様が所属される場合のみ保護者・兄弟姉妹・祖父母の方が観覧可能とします。発表日程等については、パンフレットやお子様の所属する団体からの案内で確認をお願いします。また来校の際には、以下の点に注意をお願いします。

1. 必ずマスクを着用してください。

また観覧の際には密にならないよう、座席の間隔を空けて着席してください。

2. 体調がすぐれない方は来校をご遠慮ください。

3. 消毒用アルコールを設置しますので、ご利用ください。

このような状況の中でも一生懸命活動に取り組んできた生徒の活躍する姿・作品を見ていただければと思います。

（中学・高校生徒会）

教職員の動向

○10月11日に理科の竹林拓也先生に男児が誕生されました。おめでとうございます。
ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。



今月の聖句

神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、しぼまない財産を受け継ぐ者としてくださいました。

(ペトロの手紙一 1章3～4節)

うるわしの白百合 ささやきぬ昔を
イエス君の墓より いでましし昔を
うるわしの白百合 ささやきぬ昔を
百合の花 ゆりの花 ささやきぬ昔を

春に会う花百合 夢路よりめさめて
かぎりなき生命に 咲きいずる姿よ
※以下一番と同じ (讃美歌496番)

10月16日に放送されたNHKの朝ドラ『エール』で、主人公の作曲家、古山裕一の妻の母、光子を演じる薬師丸ひろ子さんが、戦争が終わりを知り、自宅の焼け跡で歌った讃美歌が反響を呼んでいます。最初は「戦争のこんちくしょう」と叫んで地面をたたくという脚本だったそうですが、薬師丸さん自身の発案でクリスチャンである光子の思いを歌に託しました。この讃美歌はイースター（復活祭）に歌われ、ゆりは「復活」のシンボルです。多くの大切なものを失い、悲しみと喪失感に打ちひしがれながらも、それでも決して失われない希望を胸に、立ち上がろうとする姿を伝えています。

(聖書科 T. M)

11月の行事予定表

1	日	中高新体操部発表会	
2	月	中間テスト素点確認 高校GI、高校写真部作品展示 中高化学部展示	
3	火	文化の日 高1進研記述模試	
4	水	最終下校時刻変更 (中) 17:30 (高) 18:00 中高吹奏楽部・中高マンドリン部公演 [NC]	
5	木	高校オーケストラ同好会公演	
6	金	(中) 漢字検定 中学YWCA部バザー(校内向け)	
7	土	中学YWCA部ミニコンサート・バザー 中学美術部作品展示	(L・総)
8	日		
9	月	面接週間(40分授業)	
10	火	中学放送部番組上映 高校美術部作品展示	
11	水	1～3限 土曜授業 (総)	[NC]
12	木		
13	金		
14	土	高校邦楽部公演	
15	日		
16	月	キリスト教強調週間	
17	火	特別プログラム(授業なし)	
18	水		[EP][NC]
19	木	火曜授業 高校放送部発表	
20	金		
21	土	45分授業 キリスト教強調週間特別礼拝 選択科目1号用紙提出 ニュース検定	(総)
22	日		
23	月	勤労感謝の日 広島県高等学校キタマンドリンフェスティバル	
24	火	45分授業 高校YWCA展示(~12月3日) 高1・2スピーチコンテスト(7限~)	
25	水		[NC]
26	木	高校ダンス部公演	
27	金		
28	土		(L・総)
29	日		
30	月		

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります。